

One Control Crocodile Tail Loop OC10

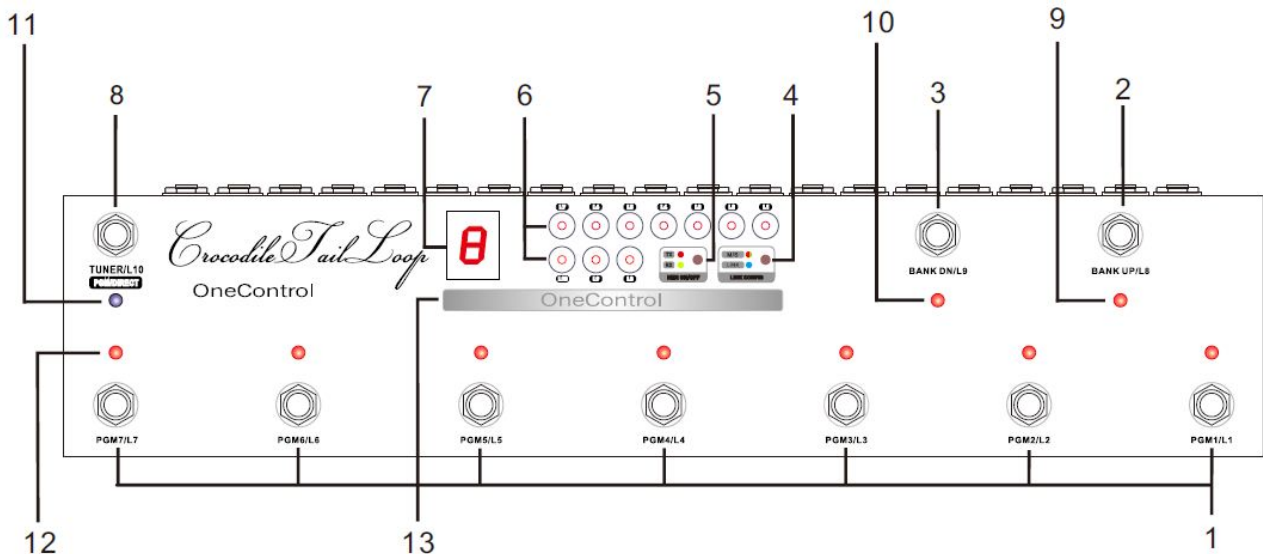
取扱説明書

このたびは One Control Crocodile Tail Loop OC10 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を発揮するためにも、ご使用前に当説明書をお読みください。

- One Control Crocodile Tail Loop OC10 は、7 つの直列ループと 3 つのセパレートループを搭載したプログラムループです。
- 7 つのプリセットスイッチと 10 種類のバンク選択が可能で、最大 70 個までプリセットを保存することができます。
- 視覚的にわかりやすいプログラミング機能。
- バッファーインプット (BJF バッファー) / ノンバッファーインプット、チューナーアウトを搭載。
- セパレートループはアンプのチャンネル切替等を行うラッチスイッチとしても使用可能です。
- ダイレクトモードを用いることによって、ノーマルスイッチャーとしても機能します。
- MIDI IN、MIDI OUT/THRU 端子を搭載し MIDI コントロールに対応。
- Crocodile Tail Loop2 台を接続することでより多様なコントロールを実現する LINK モード搭載。

1.各部の名称と使い方

フロントパネル



(1)PGM1/L1～PGM7/L7

プログラムモードの場合、これらのスイッチはセッティングの呼び出しに使用します。ダイレクトモードの場合、これらのスイッチは直接 LOOP1～7 に割り当てられます。

(2)BANK UP/L8

プログラムモードの場合、このスイッチを押す毎にバンクの数字が上がります。バンク数は 10 個 (1,2,3,4,5,6,7,8,9,0) 使用可能です。ダイレクトモードでは LOOP8 に割り当てられます。

(3)BANK DN/L9

プログラムモードの場合、このスイッチを押す毎にバンクの数字下がります。ダイレクトモードでは LOOP9 に割り当てられます。

(4)LINK CONFIG

プログラムモード時のみ使用します。スイッチを押して LINK 機能のモードを切り替えます。
詳細は「LINK 機能」の項目を参照下さい。

(5)MIDI ON/OFF

プログラムモード時のみ使用します。スイッチを押してモードを切り替えます。

-TX:MIDI OUT 端子からプログラムチェンジ情報を送信します。

-RX:MIDI IN 端子からプログラムチェンジ情報を受信します。

詳細は「MIDI コントロール」の項目を参照下さい。

(6)プログラムボタン

プログラムモード時のみ使用します。このボタンで LOOP1 から LOOP10 の ON/OFF を設定します。LED が点灯しているボタンのループを信号が通過します。

(7)LED ディスプレイ

プログラムモードの場合、バンクナンバーを表示します。ダイレクトモードでは「-」のように表示されます。

(8)TUNER/L10

プログラムモードの場合、OUT-1 と OUT-2 からの出力がミュートされ、INPUT 端子から入力された信号がそのまま TUNER 端子から出力されます。再度スイッチを押すとミュートが解除されプログラムモードに戻ります。
ダイレクトモードでは LOOP10 に割り当てられます。

(9)STATUS LED

ダイレクトモード時のみ動作します。LOOP8 選択時に点灯します。

(10)STATUS LED

ダイレクトモード時のみ動作します。LOOP9 選択時に点灯します。

(11)STATUS LED

プログラムモードの場合、TUNER ON 時に点灯します。ダイレクトモードでは LOOP10 選択時に点灯します。

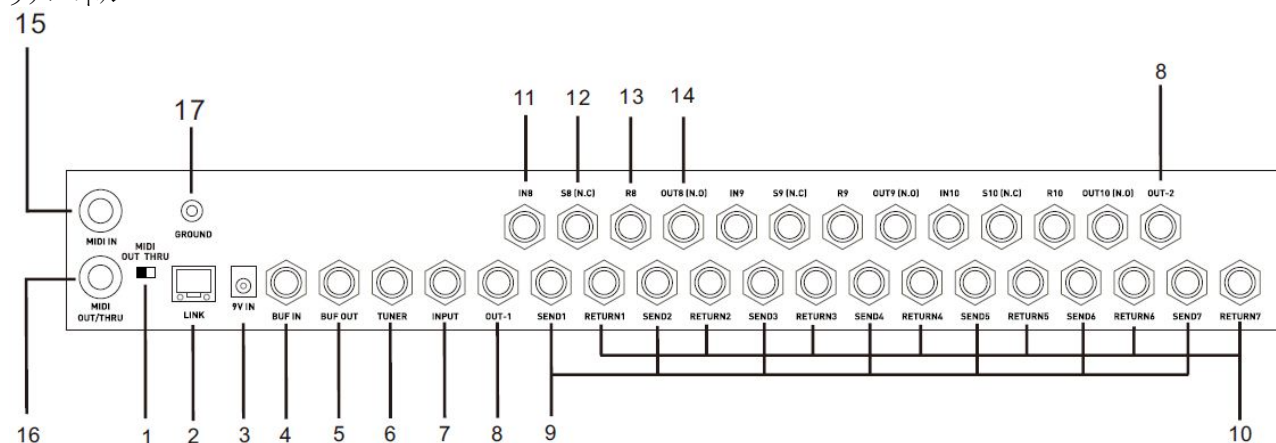
(12)STATUS LED

プログラムモードの場合、選択中の箇所が点灯します。ダイレクトモードでは選択された LOOP が点灯します。

(13)ガードバー

コントロールボタンの押し間違いやディスプレイの破損を防ぎます。ガードバーは着脱可能です。

リアパネル



(1)MIDI OUT/THRU

スイッチで MIDI アウト/スルーを選択します。

(2)LINK

リンクケーブル用端子です。

(3)9V IN

DC9V センターマイナスアダプター用の端子です。

(4)BUF IN

ここから入力された信号はバッファー回路をってからループ回路へ送られます。

(5)BUF OUT

BUF-IN 端子から入力された信号の出力端子です。

(6)TUNER

TUNER スイッチ ON 時、OUT 端子からの出力がミュートされ、入力信号がそのまま TUNER 端子より出力されます。

(7)INPUT

ここから入力された信号はそのままループ回路へ送られます。

(8)OUT-1, OUT-2

直列ループ (LOOP1～LOOP7) のアウトプット端子です。OUT-1, OUT-2 は内部で並列に繋がれているため全く同じ信号を出力します。

(9)SEND1～7

エフェクターのインプット端子と接続します。

(10)RETURN1～7

エフェクターのアウトプット端子と接続します。

(11)IN8, IN9, IN10

独立ループ LOOP8～LOOP10 のインプット端子です。

(12)S8, S9, S10

独立ループ LOOP8～LOOP10 のセンド端子です。エフェクターのインプット端子と接続します。これらの端子はアンプのチャンネル切替等を操作するラッチスイッチ(ノーマリー・クローズ)としても使用可能です。

(13)R8, R9, R10

独立ループ LOOP8～LOOP10 のリターン端子です。エフェクターのアウトプット端子と接続します。

(14)OUT8, OUT9, OUT10

独立ループ LOOP8～LOOP10 のアウトプット端子です。これらの端子はアンプのチャンネル切替等を操作するラッチスイッチ(ノーマリー・オープン)としても使用可能です。

(15)MIDI IN

MIDI データの受信用端子です。詳細は「MIDI コントロール」の項目を参照下さい。

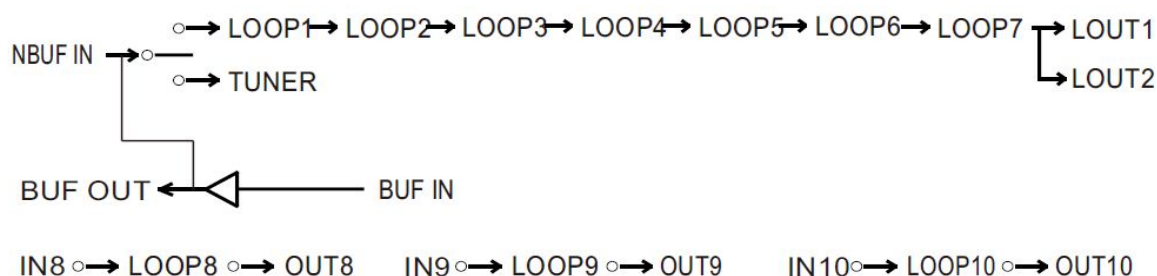
(16)MIDI OUT/THRU

MIDI データの送信用端子です。詳細は「MIDI コントロール」の項目を参照下さい。

(17)GROUND STUB

アース線を接続します。

2.シグナルパス



ギターからの入力信号は OC10 のインプット端子 (NBUF IN、BUF IN) から入り、直列ループ LOOP1～LOOP7 を通過し OUT-1、OUT-2 から同じ信号が出力されます。TUNER スイッチが ON の場合、インプットから入力された信号はそのまま TUNER 端子から出力されます。また、NBUF IN から入力された信号は BUF OUT からは出力されません。

3.プログラムモード時の使用方法

PGM スイッチを押すとプリセットが読み込まれ、選択された PGM スイッチの LED が点灯します。

4.TUNER

TUNER/L10 スイッチを押すとアウトプット端子 (OUT-1、OUT-2) がミュートされ、インプットから入力された信号がそのまま TUNER 端子から出力されます。ミュート中にプリセットの変更やプログラム変更を行ってもミュートは解除されません。再度スイッチを押すことでミュートが解除されます。

5.BANK UP/DOWN

OC10 は 7 つの PGM スイッチと 10 種類 (1,2,3,4,5,6,7,8,9,0) のバンク選択が可能で、最大 70 個までプリセットを保存することができます。BANK UP と BANK DOWN スイッチでバンクを変更します。それぞれのスイッチを押すとディスプレイの数字が点滅しながら変わっていきます。呼び出したいバンクの数字を表示させた状態で PGM スイッチを押すことで当該バンクが選択されます。

6.プログラム/ダイレクトモード

TUNER/L10 スイッチを長押しすることでプログラムモードとダイレクトモードを切り替えることができます。

ダイレクトモードではディスプレイに「-」のように表示されます。ダイレクトモードでは L1～L10 スイッチが当該ループの ON/OFF 切替スイッチとなります。

※ダイレクトモードでは MIDI、LINK 機能は使用できません。

7.プログラム方法

プログラムモード時に、変更したいプリセットを選択しプログラムボタンを操作することでプログラムを変更します。プログラムボタンを押す度に ON/OFF が切り替わり、LED が点灯している状態で当該ループを通過します。設定したプログラムは自動的に保存されます。

8.MIDI コントロール(プログラムモード時のみ)

MIDI ON/OFF ボタンを押すことで MIDI データの送信 (TX) および受信 (RX) の設定を切り替えます。設定は自動的に保存されます。

TX が ON の場合、当該プリセットを ON にした時に「プログラムチェンジナンバー」データを MIDI OUT 端子から送信します。OFF の場合は送信されません。

このコマンドデータは MIDI チャンネル 0 (1～16 表記の場合はチャンネル 1) の 0 番から 69 番を使用し、バンク 1 の PGM1 が 0 番、バンク 10 (ディスプレイ表示では "0") の PGM7 で 69 番となります。

RX が ON の場合、「プログラムチェンジナンバー」データを MIDI In 端子から受信します。

MIDI チャンネル 0 (1～16 表記の場合はチャンネル 1) の 0 番という MIDI データを受信した場合、自動的にバンク 1 の PGM1 に保存されているプリセットが呼び出されます。

9.LINK 機能(プログラムモード時のみ)

OC10 は、もう 1 台の OC10 と繋ぐことで SYNC モード、LINK モードの 2 種類の使い方が可能になります。

2 台の OC10 が LINK ケーブルで正しく繋がれている状態では LINK CONFIG の LINK LED が青色に点灯します。SYNC モードでは片方の OC10 が選択したバンクおよび PGM がもう一方の OC10 でも自動的に選択されます。例えば OC10-A でバンク 1/PGM7 を選択すると、OC10-B でも同時にバンク 1/PGM7 が選択されます。また、OC10-B でバンク 2/PGM7 を選択すれば OC10-A でも同時にバンク 2/PGM7 が選択されます。この時呼び出されるプリセットはそれぞれの OC10 で保存していたプリセットが呼び出されます。

LINK モードはマスターに設定した OC10-A のデータをスレーブに設定した OC10-B に取り込むことで、OC10-A の設定をそのまま OC10-B に反映させることができます。LINK モードではマスター側の OC10-A のバンク、PGM、プリセットプログラム、MIDI ON/OFF 全ての設定がそのままスレーブ側の OC10-B に反映されます。

LINK CONFIG ボタンを押すことで LINK 機能のモードを切り替えます。

SYNC モード: 両方の OC10 の M/S LED を OFF

LINK モード (マスター): マスターにする OC10 の M/S LED を赤色に設定

LINK モード (スレーブ): スレーブにする OC10 の M/S LED を緑色に設定。

スレーブモードでは、ディスプレイに  のように表示されます。スレーブモード中は LINK CONFIG ボタン以外の操作ができなくなります。

※LINK 機能が正常に動作しない場合、2 台の OC10 の LINK CONFIG が正しく設定されているかご確認ください。

※LINK 機能と MIDI コントロールは同時に使用できません。

10.仕様

サイズ: 46.3(L) x 11.1(W) x 6.4(H) cm

重量: 約 1.8kg

電源: DC9V センターマイナス

消費電流: 最大 360mA

インプットインピーダンス: 500k ohm

アウトプットインピーダンス: 10k ohm

Max. Buffered Input Vp-p: 9V

Max. Non-Buffered Input Vp-p: 30V